

第 1 回瑞浪市地域農業経営基盤強化促進計画検討会 議事録

開催日時	令和 7 年 1 2 月 3 日（水） 1 0 時 0 0 分 開会		
開催場所	瑞浪市役所 2 階 大会議室		
役職※	会員氏名	所属	出欠
会長	大山 理晴	瑞浪市農業委員会	出席
副会長	小栗 敏美	陶都信用農業協同組合 経済部	出席
委員	柴山 豊一	東濃農林事務所 農業振興課	出席
委員	鈴木 創造	瑞浪市農業再生協議会	出席
委員	水野 求	農事組合法人大川機械化営農組合	出席
委員	小栗 啓輔	農事組合法人大湫機械化営農組合	出席
委員	遠山 英俊	農事組合法人とうぶ営農	欠席
委員	原 雅直	農事組合法人日吉機械化営農組合	出席
委員	渡邊 美孝	農事組合法人ふかさわ	出席
委員	民田 千博	農事組合法人民田農場	出席
委員	土屋 博之	合同会社つちや営農	出席
委員	山崎 意宇	山崎商事株式会社	欠席
委員	伊佐治 広充	新規就農者	出席
委員	木村 大介	新規就農者	出席
委員	丹羽 静子	きなあた瑞浪出荷者協議会	欠席
会員の総数 1 5 名 出席会員数 1 2 名 うち委任による出席数 0 名			
審議事項	1) 地域計画、目標地図の素案について 2) 農地中間管理事業を介して利用権設定をした農地について 3) 協議の場の開催について		

※委員の役職については、本検討会にて選任された役職を記載。

1. あいさつ

大山理晴会長より開会のあいさつ

2. 瑞浪市地域農業経営基盤強化促進計画について

事務局より地域計画の情勢等について説明

【質疑】特になし

3. 審議事項

1) 地域計画、目標地図の素案について

事務局より各地区の地域計画、目標地図の素案について説明

【質疑 土岐町】

事務局 大草集落営農組織の解散により、担い手不在農地が発生してしまった。土岐町で営農している組織の中で、集積の見込みはどのようなか。

土屋委員 正直、厳しいと考えている。既に他の地域で請け合っている田も条件のいい場所だけではない。新たな集積については、既に請け負っている田と隣接しているなどの条件が整ってほしい。

小栗委員 場所などの条件の前に、組織としての人数による要因が大きいと考えている。現在の人員をベースに考えてしまうと、どうしても遠隔地での集積は困難に思えてしまう。
集積を検討した場合、その地域を任せる人員の給料が見込める程度の規模としてほしい。

事務局 桜堂集落より、農地を一体的に請け負ってほしい旨の相談がある。この地域での集積の見込みはどのようなか。

土屋委員 とうぶ営農との兼ね合いはあるが、この地域での集積は可能と考えている。既に個別で相談を持ち掛けられている農地もあることから、利用権設定期間などのタイミングが合えば検討したい。

事務局 伊佐治委員は、この土岐町を拠点として新規就農されたと認識している。今後の農地の拡大は見込んでいるか。

伊佐治委員 現在は、自宅から車で15分程度の距離に農地が点在している。今後の収穫量の増加を検討するにあたり、地域計画も参考にしながら、まとまった農地を探したいと考えている。

【質疑 明世町】

事務局 この地域では、とうぶ営農より縮小の以降を伺っている。こうした農地を他の営農組織が引き継ぐことは可能か。

原委員 地権者と営農組織との間で折り合いが付けば、集積は可能と考えている。

【質疑 稲津町】

事務局 中洞集落営農組織の解散により、担い手不在農地が発生してしまった。土岐町で営農している組織の中で、集積の見込みはどのようなか。

小栗委員 示された農地のうち、数筆を来年から集積することとなっている。更なる集積は、現地のワイヤーメッシュや水系の状況にもよるが、採算が取れるかが基本だと考えている。

事務局 この地域では、営農組織の構成員が個人で請け負っている農地が入り組んでいる。集約化に向けて、こうした農地の交換は可能か。

小栗委員 双方で条件が合えば検討してもよい。

【質疑 陶町】

土屋委員 現在請け負っている農地に隣接する部分は、拡大意向に含めてもよい。

水野委員 地権者が死亡しており契約が結べていないが、営農組織で管理している農地もある。

【質疑 釜戸町】

民田委員 地権者からの目線で考えたときに、自身が所有する農地に色が塗られていることの印象はどのようなかと考えている。個々の農地を把握している訳ではないが、色が塗られていることで、将来の農地の受け手がいてくれると思って安心してもらいたいと考えている。

新たな集積に際しては、行政からの支援も拡充していただきたい。

事務局 市としても、補助事業等の有益な情報は積極的に提供したい。

【質疑 大湫町】

小栗委員 大湫町内の田は、拡大意向に含めていただいて構わない。

【質疑 日吉町】

事務局 木村委員は、策定時に既に拡大意向をいただいているが、状況はどのようなか。

木村委員 拡大意向とした採草放牧地は、徐々に取り組んでいる。

事務局 日吉町では、複数の営農組織が存在している。当面は現状を維持できるものと考えてよいか。

大山委員 南垣外集落では、しばらくは集落営農組織内の担い手への集積が可能だと見込んでいる。一方で南垣外に限らず、畦畔の草刈りの負担は増加し続けている。営農組織等の担い手の苦労も容易に想像できる。市や県のサポートに期待している。

渡邊委員 ふかさわ営農では、まずは自分たちの地域を守ることを主旨に活動

している。組織としては、ボランティアに近い活動と認識しているが。何とか活動を継続していきたい。

【質疑 その他】

- 事務局 担い手の各組織における、従業員の新規雇用の状況はどうか。
- 小栗委員 組織で人数を定めている。辞める従業員がいれば、その分を補填している。
- 土屋委員 自身と同世代で1名増加した。
- 原 委員 若い世代の雇用はあったが、長く続かず辞められた。現在は、40代の層が多い。
- 民田委員 20代の女性を新しく雇用している。農業が楽しいと思ってもらえるよう努めている。地域柄かもしれないが、多治見市からの従業員も複数いる。更に高卒での雇用を検討しているが、雇用に係る補助が手厚いと非常にありがたい。

【審議】各地区での意見等を反映させた地域計画、目標地図を協議の場の資料とすることに異議なし

本検討会による資料の修正は事務局に一任する

2) 農地中間管理事業を介して利用権設定をした農地について

事務局より説明

【質疑】特になし

【審議】案件①、②について、事務局案に異議なし

3) 協議の場の開催について

事務局より説明

【質疑】特になし

【審議】開催方法、日程について、事務局案に異議なし